

令和4年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立内幸町ホール	所在地	千代田区内幸町1-5-1
-----	-------------	-----	--------------

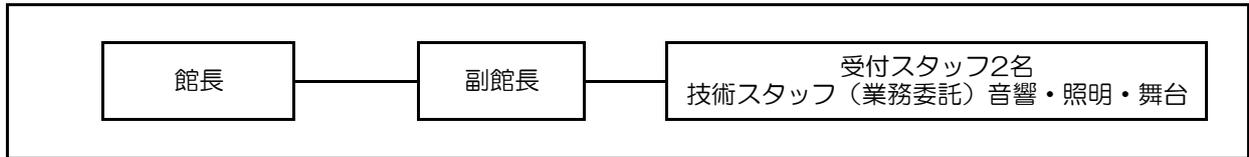
1 指定管理者の概要

名称	株式会社コンベンションリンケージ	代表者	平位 博昭
所在地	東京都千代田区三番町2 三番町KSビル		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	報告期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	千代田区の文化芸術の振興を図り、区民（区に住み、働き、学び、集うすべての人々をいう。以下同じ。）が演劇・音楽等の文化芸術活動を実践することができる場の提供、文化芸術活動を行う団体等の育成及び区民が文化芸術を享受することができる機会の提供を図ること、その他区民の利用に供
管理業務の内容	(1) ホール施設及び付帯設備（以下「ホール等」という。）の利用承認等に関すること (2) 演劇・音楽等の公演その他の催し物に関すること (3) 区民の自主的な文化芸術活動意識の醸成に関すること (4) 文化芸術活動を行う区内の団体等の支援及び育成に関すること (5) ホール等の保守点検および施設設備の維持管理に関すること (6) その他ホールの目的を達成するために必要な事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア ホール利用実績

	年間日数	休館日数・メンテナンス日数	日単位の利用実績			利用区分別の利用実績		
			利用可能日数	実利用日数	利用率	利用可能区分数	実利用区分数	利用率
令和4年度	365	6	359	329	91.64%	1005	828	82.39%
令和3年度	365	60	305	225	73.77%	906	537	59.27%
令和2年度	365	109	256	127	49.61%	761	276	36.27%

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施した。

イ 利用目的別件数

	演劇	音楽	舞踊	落語	朗読	その他	合計
令和4年度	39	169	24	99	22	35	388
令和3年度	16	124	11	50	10	32	243
令和2年度	0	68	0	38	6	20	132

ウ ホール主催事業

8演目実施（朗読・解説1回、落語1回、音楽4回、体験教室1回、その他1回）

エ ホール共催事業

内幸町ホール文化祭（7日間：11団体）

オ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理（害虫駆除を含む）
- ・施設清掃業務
- ・警備業務
- ・ピアノ、音響、照明、舞台保守点検
- ・防火防災管理点検
- ・防火対象物点検
- ・消防設備点検
- ・防火設備点検
- ・避難訓練
- ・水防訓練

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	30,283,293円	人件費	19,729,598円
利用料金	47,035,375円	光熱水費	18,911,712円
主催事業	1,283,956円	事業費	2,583,910円
損失費用補填額	1,049,467円	施設運営維持管理費	43,257,964円
その他	4,955,523円	合計(②)	84,483,184円
合計(①)	84,607,614円		
収支差額(①-②)	124,430円		

【参考】令和3年度指定管理料 29,416,000円

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いてはいたものの、常に所管課との緊密な連携をとりながら、弊社の施設運営方針に基づき安全安心・ホスピタリティ・倫理・コストパフォーマンスを心がけた運営を実践してきた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染防止対策としては、昨年度に引き続き検温器・アルコール消毒液の設置や施設内の消毒、感染症対策啓発ポスターの掲示等を行い、安心してご利用いただけるよう努めた。</p> <p>その結果、利用件数はコロナ禍以前の件数近くまで回復しつつあり、ホールの提供するサービスに大変満足していただけたものと評価している。今後とも区民の文化力の底上げを図るとともに、どんな小さな利用においても「感動」を提供できるよう努めたい。</p>	<p>収入面では、利用率の回復により会場利用料収入や付帯設備料収入は昨年度と比べて大幅に増加しており、昨年度と比較し利用料収入は約2.4倍となっている。一方で、令和4年度上半期には新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅な利用率の低下が見受けられる時期もあり、そうした減収分については区から損失補填を受けることで、ホールの管理運営を安定して継続させることができた。</p> <p>支出面では、物価水準の大幅な変動に伴い光熱水費が増加したため、区と協議の上、指定管理料を増額し対応した。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に小さくなっていくことが予想されるものの、引き続き効率的かつ安全な運営に努め、コストパフォーマンスに配慮した運営を心がける。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>新型コロナウイルス感染症の影響は引き続きはいるものの、利用率はコロナ禍以前と同程度に回復しつつある。これは利用者への周知の成果ともいえ、キャンセル対応や感染症対策のみならず、ホールの運営のために工夫を凝らし、非常に尽力していることが伺える。また、ホールの主催事業では、若手へ活動の場を支援しつつも独自性のある事業を実施しており、区民に対し文化芸術に親しむ機会を提供していることが高く評価できる。</p>
--

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>今後もこれまでのノウハウを活かし、利用者が安心して利用できるような質の高いサービスの提供を求める。また、従前の実施内容に捉われない新たなジャンルの事業を開催することで、引き続き文化芸術の情報発信と文化交流の普及に取り組んでいただきたい。</p>
